



逆瀬川 あゆみだより

NO.202 2024.4

社会福祉法人

聖隷福祉事業団

逆瀬川あゆみ保育園

宝塚市逆瀬川 2-2-8

TEL0797-77-0415

ご入園、ご進級おめでとうございます。

やさしい日差しや鳥のさえずり、春の匂いに包まれながら、草花が好きな場所でその草花らしい、美しい花を咲かせます。この生命の輝きの繰り返しは、私達に安心感や喜び、生きる力を届けてくれます。子ども達は、楽しさをわかちあう仲間や大人に囲まれて「なんだろう」「どうなっているのかな」と、自然の美しさや不思議さ、発見する喜びを感じながら豊かな経験を重ね、それを糧として、一人ひとりがこの草花のように自分らしい花を咲かせて欲しいと願いながら新しい年度を迎えています。

入園は、保護者の皆さんにとっては期待よりも不安が大きいと思います。我が子を園に預けること、職場への復帰、新しい仕事につく不安などがありますね。お子さんと初めて離れるお母さんの切ない気持ちはとてもよくわかります。また、子どもも知らない場所や知らない大人（保育者）に泣いたりします。でも、これは、当たり前的事！必ず、笑顔の日々がやってきますので、焦らず一緒に見守りつつ、過ごしていきましょう。集団生活ならではの楽しさや、経験の多様さなどを感じ取れる日もきっとやってくるのでは・・・と思いますよ。

また、ひとつ大きくなった在園児の子ども達の姿も様々な気がします。ひとつ大きくなって、「〇〇組になった～」と誇らしげな表情を見せてくれる子ども。新しい担任、お部屋にドキドキして旧担任を探している子ども。どんな姿にも子ども達の思いが表れています。そんな思いに寄り添い、安心して過ごせるよう職員間で子ども達の姿を共有し、みんなで受け止めていきますので、どうぞご安心下さいね。

3月23日の土曜日に、聖隷福祉事業団の保育園・こども園がWEBで繋がり、年度末研修を行いました。礼拝を皆で守り、聖隷の理念と歴史に触れるお話を静岡ブロックの園長からお聞きしました。今までも法人が立ち上がるまでの先人方の熱い思いや行動力のお話は、お聞きしていましたが、四肢障がいのあるお子さんとの出会いによって、保育者も考え方が変わっていき、この世に生を受けたことの意味、毎日の積み重ねの経験が力になるなど、様々な思いに気づいたという内容のお話でした。とても心が動きました。楽しいことばかりではなく、しんどいと感じたり、悲しいこと、つらいことがあったりしたかもしれません。でも、彼のことも、きっと神様が守って下さって今があるのだと感じました。

私達も、忙しい毎日の中ですが、神様の守りの中、当たり前の毎日を送れることに感謝をしながら日々を送っていきたいと思います。

今年度も、どうぞよろしくお願ひ致します。

辻田 紀子





9名のおともだち
すくすくと おおきくなあれ！

愛によって歩みなさい

「キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。」（エフェソの信徒への手紙5：2）

宝塚栄光教会牧師 岩間 洋

新年度を迎えました。保育園の中に元気な子どもたちの声が響いています。

「あなたがたも愛によって歩みなさい」という聖句は、あゆみ保育園の基礎になるみことばです。この言葉の背景には、その前にある「キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように」という言葉があることを忘れてはなりません。キリストが、私たちの罪のために十字架にかかって、ご自分の命をお捨てになったということを述べています。つまり、キリストが私たちのために命を捨てるほど愛してくださったように、そのように「あなたがたも愛によって歩みなさい」と奨められているのです。もの心がついて間もない子どもたちに、そのような愛を伝えていく者でありたいと思います。

